

# 第34回 縮小社会研究会



今回は経済をベースに縮小社会を考えてみたいと思います。講演はソ連・ロシアの経済を長年研究されてきた大津定美さんと社会保障や人口論の専門家である西村周三さんです。お二人に、原発事故と人口減少という日本が直面している重要要素を切り口にして、経済学の視点から語ってもらいます。

**時**：2016年6月5日（日）13時30分より

**所**：京都大学 文学部新棟 第3講義室

地図：[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_y/](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/) の **8**

**参加登録**：会のホームページの案内より登録願います。または、下記より

[http://confreg.ate-mahoroba.jp/confreg?conf\\_idstr=pjL9TFgJ2Kr9ceFBJbukSWdJ858](http://confreg.ate-mahoroba.jp/confreg?conf_idstr=pjL9TFgJ2Kr9ceFBJbukSWdJ858)

**参加費**：会員は無料、非会員は500円

**講演1.** 13:30-14:45 **「チェルノブイリ原発事故はソ連崩壊の原因か」**

**大津定美**（神戸大学名誉教授、NPO「小水力発電をミャンマーの農村に」理事）

表題の質問を福島第一原発事故の直後に受けた。たしかにソ連崩壊は縮小の始まりだった。90年代にロシア国民は、経済破綻で塗炭の苦しみを味わってきた。とはいえ、ロシアは今また大国化へ進んでいる。



**講演2.** 15:00-16:30 **「人口減少と縮小社会経済のゆくえ」**

**西村周三** 京都大学名誉教授、前社会保障・人口問題研究所所長

日本における少子高齢化を伴う人口減少および近年の経済の動向を、広く経済システムのあり方、長期的視点、グローバルな視点から位置づけ、特に、市場経済と非市場経済とのバランスをどのように図るかを考えたい。参考とするパラダイムはK. ポラーニの論考と、ナジタ氏の「相互扶助経済」についての論考などである。



**パネル討論**：16:45-17:30

**懇親会**：17:45-19:30 会場トスカ（3000円）

一般社団法人 縮小社会研究会

〒606-8227 京都市左京区田中里ノ前町21 石川ビル305

e-mail: [jimukyoku@shukusho.org](mailto:jimukyoku@shukusho.org)

HP: <http://shukusho.org/>